

# 連合三重の活動

## 東日本大震災緊急救援街頭カンパ 2011.3.23~3.30



津駅(3月23日)



四日市駅(3月28日)



伊勢市駅(3月29日)



桑名駅(3月30日)

## 東日本大震災復興支援メーデーカンパ 2011.4.25~4.28



桑名駅(4月25日)



松阪駅(4月25日)

## 寄付金 2011.5.13



みえ災害ボランティア支援センターへ活動支援金30万円を寄付



四日市駅(4月26日)



津駅(4月26日)

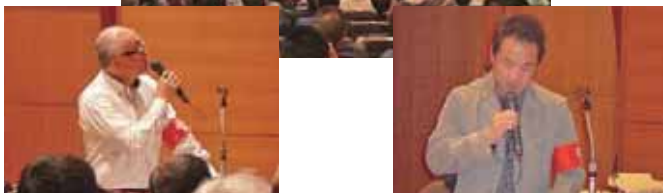


宇治山田駅(4月27日)



白子駅(4月28日)

## 第82回 三重県中央メーデー 2011.5.1



スライドを使って東日本大震災現地の状況やボランティア活動報告を行う自治労の参加者



三重の地からの連帯と支え合いを掲げて中央メーデーを開催「つながろうNIPPON救援宣言」を採択



連合本部や連合三重の東日本大震災救援活動の取り組みを報告

## 東日本大震災救援カンパ

月日	金額	内容
3月23日~8月31日	5,078,542円	街頭カンパをHPや機関紙でカンパを募り集約後、連合本部へ送金
5月13日	300,000円	みえ災害ボランティア支援センターへ復旧・復興活動支援金を贈呈

# 連合三重の活動

2012新春旗開き 2012.1.6



山田町商工会専務理事の佐藤信逸氏(現・山田町町長)による震災の軌跡と現状報告



抽選会では、東北物産品を賞品として復興支援へ



連合東北ブロック連絡会の物産品献旋に協力する



会場ロビーでは山田町の災害状況とボランティアのパネル展示



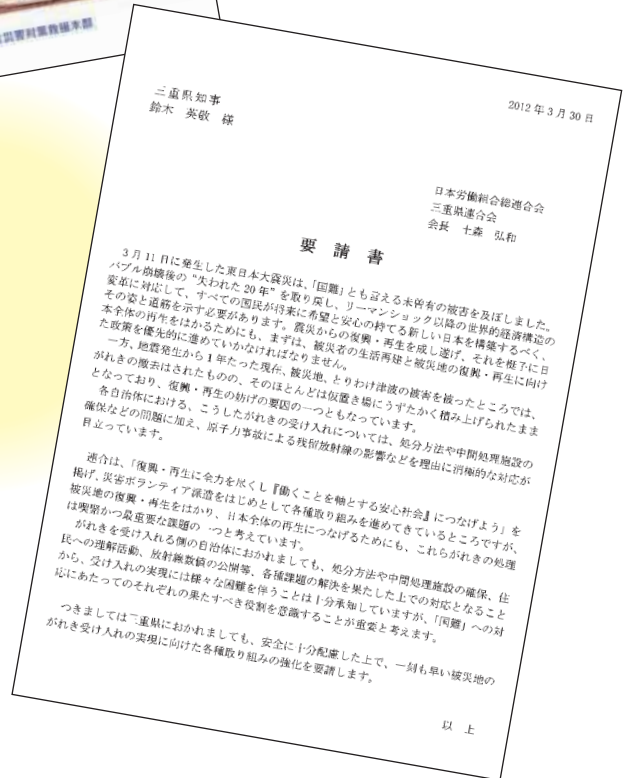
## 緊急要請



藤井三重労働局長に要請



鈴木三重県知事に要請



相手先	月日	内容
三重労働局	2011年7月5日	「東日本大震災に伴う労働者の雇用確保に関する要請書」の提出 P33
三重県	2011年7月5日	「東日本大震災に伴う被災地及び県内の支援体制についての要請書」の提出 P34
三重県	2011年10月6日	「台風12号災害に伴う被災地の早期復旧及び生活支援等にかかる要請書」の提出 P52
三重県	2012年3月30日	「被災地がれき受け入れに関する要請書」の提出 P54

第23回定期大会 2011.10.28



復興・再生に全力を尽くそう



紀和町出身の北岡顧問より台風12号災害ボランティア活動のお礼



紀南地協よりボランティア活動とカンパのお礼のあと、現状報告を受ける

12号災害義援金カンパ 2011.9.30~12.27

9月30日から11月30日の間、組員1人100円以上を目標に、各構成組織・全地協にて組織内の義援金カンパ活動を展開しました。

義援金は2011年12月27日現在で、連合三重・地協・三重県労福協・連合本部愛のカンパ(1,000,000円)・地方連合会(宮城200,000円・京都200,000円・福井300,000円)から「12,369,174円」を集約し、12月22日の紀南地協定期大会にて連名(三重県労福協・連合三重)で下記の4団体へ贈呈しました。

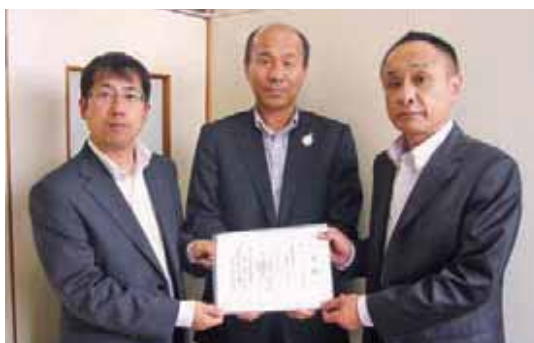


寄贈先	金額
紀南地協	11,069,174
熊野市	500,000
御浜町	300,000
紀宝町	500,000

12月22日以降に寄せられたカンパ金1,266,693円は、連合三重・三重県労福協の連名で紀南地協・南熊労福協へ復興支援金として贈呈しました。



カンパ・義援金を贈呈  
(右から西田紀宝町長・古川御浜町長・河上熊野市長)



復興支援金を贈呈  
(左 紀南地協北岡事務局長・右 南熊労福協山本会長)



地元の新聞に掲載されました

# 連合三重の活動

## 第83回 三重県中央メーデー 2012.4.29



連合東北ブロック代表より「がんばろう日本、よみがえれ故郷 どうか私達のことを覚えていて下さい」とのアピール文が届く



三重県労福協は東日本と熊野の支援物産品を販売



抽選会の連合三重賞は「里創人熊野倶楽部」のペア宿泊券



名張市社会福祉協議会は東日本大震災カンパ活動とボランティア活動のパネルを展示



## 2012春季生活闘争決起集会 2012.3.3



オープニングで東日本大震災と台風12号災害の活動記録のDVDを上映



## 第20回労福協・連合チャリティーコンペ 2012.5.25



「20回記念抽選会」の賞品は熊野の物産品で復興支援

## 女性青年委員会リーダー研修会 2012.5.11~12



被災地を視察して災害状況を学習

## 復興支援活動・現地視察会への参加

月日	名称	場所	内容
6月~8月	連合岩手復興支援に向けた県産品の販売		○連合東北ブロック連絡会から連合本部を通じて販売依頼があり、組織内へ展開
1月6日	2012連合三重新春旗開き	津都ホテル	○みえボラ活動&山田町被災状況写真パネルの展示 ○講演「岩手県山田町の東日本大震災からの軌跡と新たな絆」 講師：山田町商工会専務理事 佐藤信逸氏 ○抽選会で、東北復興物産品を活用
3月3日	2012春季生活闘争決起集会	三重県総合文化センター	○災害活動報告のライドショー上映
4月29日	第83回三重県中央メーデー	名張中央公園	○抽選会で東北や東紀州の復興物産品を活用 ○東北や東紀州の被災地物産販売 ○名張市社会福祉協議会を通じたカンパ活動
3月11日	東日本大震災支援フォーラムへの参加	三重県総合文化センター	○テーマ「東日本大震災・これから私たちにできること」 ○パネリストとして1名参加
3月11日	東日本大震災支援団体連絡会への登録	三重県総合文化センター	○連合三重として登録をし、「東日本大震災みえ宣言」に賛同 P19
5月14日 5月23日 7月19日	みえ東日本大震災支援団体連絡会(つながろう三重)	アスト津 アスト津 アスト津	○各団体の取り組み報告他 ○学習会「がれき受入について」 ○情報交換会他
4月13日	連合2013重点政策討論集会被災地視察会	福島県南相馬市、飯館村 他	○福島県復興計画の説明の後、「原釜漁港」「磯部地区」「南相馬」「飯館村」を視察
5月10日~11日	女性青年委員会リーダー研修会	宮城県仙台市	○参加者24名 ○被災地視察と連合宮城青年委員会との意見交換

連合三重も賛同しています

## 東日本大震災 復興支援

### みえ宣言

2011年3月11日14時46分。千年に一度といわれる未曾有の巨大地震発生。

地震、そして津波による破壊のすさまじさは想定を遙かに超え、そしてそれに伴う複合的な被害。想像を絶する惨状を伝え聞きながら、私たちは茫然とするばかりでした。すぐにでも被災された方々のもとへ応援に駆けつけたいと思っても、それすらままならない現実。私たちは無力感、そして焦燥感の中で、それぞれが「できること」を考えました。

そして今、1ヶ月を経て、自衛隊や警察、消防、海上保安庁、ライフライン企業、土木関係者等の絶え間ない努力や海外からの様々な支援により、被災地域の生活基盤は一步ずつ復旧へと進んでいます。被災地域の皆さんの努力やいち早く被災地で活動された社会福祉協議会、NPO・NGO等支援組織の尽力により、復興に向けた取り組みが始まりつつあります。

震災。津波。被災後の生活。近い将来、東海・東南海・南海地震が連動して被害を受けると予測されている三重県にとって、とても他人事ではありません。

三重県民の皆さん、茫然自失の時は過ぎました。無事であった私たちにできることがあるはず。被害を受けた方々に寄り添い、復旧・復興に向け、ともに歩み出す時が来たのです。

これから始まる長い復興への道。途中で息切れしてしまわぬよう、悲しみを乗り越え前に進めるよう、一人ひとりができる、さまざまな取り組みを結集して、被災された方々や被災地域を支えていきましょう。

私たちは、被災された方々が笑顔を取り戻し地域が復興するまで、息の長い支援活動を三重から展開することを宣言します。

**みんなのえがおがみたいから！ 今、三重から。**

2011年4月11日(東日本大震災から1ヶ月の日に)

「ほっとけやん・東日本」



代表発起人

三重県知事	野呂 昭彦 (当時)
三重大学長	内田 淳正
三重県商工会議所連合会長	竹林 武一
三重県商工会連合会長	藤田 正美
三重県共同募金会長	井村 正勝
みえ災害ボランティア支援センター長	山本 康史

提供/みえ災害ボランティア支援センター